

基礎経済科学研究所 自由大学院

大阪第三学科(金融流通協同組合論ゼミ)からのたより

[第884回ゼミ報告] 2024年7月19日号(訂正版)

脱法的アイデアが優勝！内閣府が全職員から賃上げ実現政策コンペ。なんと、
残業は個人事業主でと提言。労働弁護団・新聞各紙から批判が殺到・・

7月10日のゼミは、斎藤幸平『マルクス解体』第2部「人新世の生産力批判」の第1節～第4節までを後藤さんの報告で行いました。物質代謝の亀裂への批判：生産力主義だけでなく二元論に陥っている。マルクスの「経済学批判」非デカルト主義的二元論。ムーア：人間中心主義を徹底して退ける。現代の環境危機の原因：火の使用に見出す。人新世概念支持者：技術発展と自然支配・資本の論理。自然の認識的側面と存在論的側面の区別：人間から独立した外的自然は存在せず。素材の形態を変えるだけ、自然を労働で構築は否定・唯物論の基本。客観的な自然の限界認識：地球上に無限の空間は存在しない。エンゲルスの自然の復讐批判：自然の限界の物神化。物質代謝の亀裂：資本主義と環境危機の関係を分析できず。マルクスのエコロジー：資本主義下の人間と自然の関係：人新世での矛盾の概念化の適切な方法論争。ウォーラスティン：不均等発展論は自然を見落とす。資本：自然資源収奪だけでなく、ジェンダー格差・暴力的植民地支配・自然と人間への技術的支配。自然と人間のネットワークで利潤生産。マルクス：社会的物質代謝と自然的物質代謝を区別対比、資本主義下での両者の乖離・切断形成への警鐘。

討論では、人間は何ができるのか、主体は何か。ムーアのマルクス理解は間違いではないか。論理的一元論と方法的二元論、唯物論では形態と素材。プロメテウス主義・マルサス主義：マルクスへの批判：生産力発展・生産力中心主義。アクタン：行動するもの：エージェンシー。ヨーロッパの赤と緑の対立：日本との違い。

会場参加は川口さん・山口さん・高田、オンライン参加は小野さん・竹内さん・後藤さん・田中(興)さんの合計7名の参加でした。

* 7月24日(第4週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 853 2036 2174 パスコード: 120764

* 9月11日ゼミは、斎藤本4章4～6節を引き続き後藤さんの報告

* 上記、内閣府の脱法的政策コンペ問題の詳細は、下記を参照：

日本労働弁護団 <https://roudou-bengodan.org/topics/13276/>

朝日新聞: 7/19 社説・7/20 記事、毎日新聞: 7/20 記事

* 報告範囲訂正：7/10 訂正1～4節、9/11 訂正5～6節

***** ゼミ日程 *****

7月24日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

佐々木『資本論第3巻』第2章1-2節 平均利潤への転化 報告:小野さん

9月11日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

斎藤幸平『マルクス解体』4章5～6節 一元論・同一性 報告:後藤さん

9月25日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

佐々木『資本論第3巻』第2章3～5節「平均利潤転化」報告:小野さん

その後 10/9, 10/23, 11/13, 11/27, 12/11 [アイクルの部屋]

◇第三学科事務局/高田好章: ytakada@kcn.ne.jp 090-8658-3755

HomePage: <http://ysweb.g.dgdg.jp/ytakada/kisoken/> Pass: kiso